

# 「できるだけ削らない」

## むし歯治療を目指しています!!

今までの歯科治療では、むし歯に侵された部分を大きく切除し、詰め物を入れるために修復材料に合わせて健康な歯まで削ってしまうという方法が取られてきました。しかし、現在ではプラークコントロールやフッ素による歯の強化等を正しく行うことで、初期のむし歯なら、進行中のむし歯でも抑制できることがわかりました。また、従来のように大きく歯を削らなくてもよい修復材料が開発され、必要以上に歯を削らずに、経過を観察して歯の再石灰化を促す歯質保存的な治療を行うことが可能になりました。

当医院ではこのようなミニマルインターベンション (Minimal Intervention: 最小の侵襲) という考え方を積極的に取り入れた治療を行っています。

### 少しでも多く自分の歯を残すために

一度歯を削ってしまうと、削った部分が大きければ大きいほど歯が弱くなり、いずれは再発と修復を繰り返すようになってしまいます。また、審美的な面でも本当の自分の歯に勝るものはありません。少しでも多く歯を残す事は、私達歯科スタッフだけの努力だけでは不可能です。皆さんの日頃の予防に対する姿勢が何より大切です。

### 自分の口腔状態を正しく把握しましょう

予防やむし歯の進行の抑制は、お口の中の状況を正確に把握することから始まります。むし歯になりやすい体質なのか、唾液の量はどうか、お口の中の細菌の状況はどうかなどを検査し、一人ひとりに合った口腔のコントロールをしていきます。

### 定期診査を忘れずに!

家庭でのプラークコントロールと定期的な歯科医院でのチェックとケアを欠かさず、1本でも多く自分の歯を残しましょう。



# KOMIYA DENTAL NEWSLETTER

## 4 2010年 月号



4月になるというのに寒かったり暖かったり。"三寒四温"と言うように まだまだ寒い日が来るかと思えます。ご用心。

患者さんが自分でお口の中を完全にチェックする事が可能で、食事・おやつのシュガー・コントロールもしっかりとできて、歯石がついても自分で除去できるのが可能ならば、定期的なお口のチェック『チェック・アップ』も必要ありません。しかし、自分では分からないから、歯科医院での専門的なチェックが必要です。むし歯は、治療する時期の判断も重要です (歯の間のむし歯を治療するためには、噛み合わせの面から削らなければなりません)。経過を追っていく事も予防歯科では、大切なのです。

4月の新年度に変わったので忙しくてつい予約も忘れがち。なんて事は困りますが、お口の健康を維持するためにも定期的なリコール、チェックは必要です。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。  
このニュースレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

診療日  
変更の  
お知らせ

・診療日の変更はありません。

**こみや歯科**

☎ 03-5699-8888

〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F

「インターネット予約確認サービス URL」 <http://www.dent-s.net/komiya/>

ホームページアドレス <http://www.wahaha.gr.jp> E-mail [dental@wahaha.gr.jp](mailto:dental@wahaha.gr.jp)